



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」

国内コーディネーター通信

News Letter of Anatidae National Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
*The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)*

No.197

2021 年
7 月号

ガンカモ類国内コーディネーター

神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665

Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140

E-mail: anet@sanmedia.or.jp

JOGA25 自由集会開催(日本鳥学会 2021 年 度大会)オンライン開催

日本鳥学会において、今年も JOGA25(東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク支援鳥類研究者グループ第 25 回集会)の開催を計画しています。お時間がある方は、ぜひご参加ください。

会期：2021 年 9 月 17 日(金)～20 日(月・祝)

会場：オンライン開催(Zoom および LINC Biz を使用)

※日本鳥学会に参加する場合は、下記のサイトより大会に申し込んでください。先に大会参加費の支払いが必要です。

日本鳥学会 2021 申込ホームページ

<https://osj2021.ornithology.jp/>

<http://www.jawgp.org/anet/jgprop.htm>

※参加申し込み・送金締め切り日

7 月 12 日(月)	講演(口頭・ポスター・自由集会)申し込みおよび送金の締め切り
7 月 31 日(土)	大会決議締め切り
8 月 20 日(金)	参加申し込みおよび送金の締め切り
9 月 17 日(金)又は 18 日(土)夜間	自由集会(いずれかの日に JOGA25 開催予定)



最新の情報は JOGA ホームページをご覧ください。

○フライング・ギースプロジェクトが環境大臣賞を受賞!

ネットワークサイトの蕪栗沼周辺で市民によるガン類の餌場調査「フライング・ギースプロジェクト」が、「第 75 回全国野鳥保護のつどい」において野生生物保護功労者表彰 環境大臣賞を受賞しました。今年度(令和 3 年度)の第 75 回 愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に鑑み、オンライン形式にて開催されました。また、環境大臣賞受賞の伝達式は、令和 3 年 6 月 4 日に大崎市田尻総合支所で行われ、環境省東北地方環境事務所中山所

長からプロジェクト・リーダーの斎藤肇さんが表彰状を受け取りました。

<本の紹介①>

今の渡り鳥の研究の最前線がわかる！

題 名：鳥の渡り生態学 樋口広芳 編

内 容：かつて多くの謎に包まれていた鳥類の季節移動——渡り——は、ジオロケータ一、衛星追跡などの最新技術により、渡りゆく鳥たちの足取りを詳細に追うことが可能になった。鳥たちの渡り経路の解明から保全まで、第一線で活躍する研究者たちが鳥の渡り研究の最前線を紹介！

出版社：東京大学出版

詳しくは、下記のホームページから

<http://www.utp.or.jp/>

<本の紹介②>

湿地の保全活動の歴史が恋愛小説に

題 名：銀の橋を渡る

内 容：鳥取県西部ケーブルテレビ局が繰り広げる、ラムサールサイト「中海」の再生の活動が、作者の松本薫さんの手により恋愛説になった。恋愛小説を読んでいる間に中海再生の市民活動を追体験することになる。EAAFP サイトの米子水鳥公園の名前も作中にたくさん出てくる。

出版社：今井印刷



中海を舞台とした恋愛小説 松本薫『銀の橋を渡る』

詳しくは、今井印刷ホームページから

<https://www.imaibooks.co.jp/book/?p=10887>

○ガンカモの首輪や足環の観察記録

コーディネーター通信 No. 192 号 (2020 年 10 月) でご紹介した、ロシアでのコハクチョウへのカラーマキング調査において、日本国内で観察された事例がバードリサーチのニュースレターで紹介されています。

<https://db3.bird-research.jp/news/202106-no3/>

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 3 年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター (米子水鳥公園: 神谷) へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

添付資料	
水鳥公園だより 第 280・281 号	1 部
福島潟だより 2021 夏号	1 部



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」

国内コーディネーター通信

News Letter of Anatidae National Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.198

2021 年
10 月号

ガンカモ類国内コーディネーター

神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665

Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140

E-mail: anet@sanmedia.or.jp

● フライウェイ全国大会 2021(オンライン開催 予告)

渡り鳥や湿地に関する情報交換や交流を目的に
YouTube を用いた動画発表及び、Slideshare を用
いたポスター発表・意見交換を行います。渡り鳥に
関わる「調査研究」「保全管理」「普及啓発」「サ
イト紹介」など、幅広い内容の発表を募集しま
す。

開催日時：2021 年 12 月 3 日（金）～

12 月 5 日（日）

発表登録：2021 年 11 月 14 日（日）〆切

発表要旨：2021 年 11 月 28 日（日）〆切

参加登録：2021 年 11 月 30 日（火）〆切

主 催：環境省、Janet4、Shorebirds
Stepping Stones-ML、日本ツル・
コウノトリネットワーク

申し込み問い合わせ

：下記のサイトよりお申し込み下さい。

<https://eaafp-national-conference.jimdosite.com/>

本大会は、環境省令和 3 年度東アジア・オース
トラリア地域フライウェイ・パートナーシップ推
進業務のもと、開催されます。

● 世界渡り鳥の日 2021(2021 年 10 月 9 日)

世界渡り鳥の日（WWD）が、春と秋の年 2 回に
なっています。EAAFP(東アジア・オーストラリア
地域フライウェイ・パートナーシップ)の事務局
が、渡り鳥の日(10 月 9 日)のポスターを制作しま
したのでお知らせいたします。今回のポスターは
EAAF の種に合わせたバージョンとなっています。

下記のサイトに掲示してありますので、湿地の
日と合わせて、各サイトでホームページや SNS で
ご紹介いただくと幸いです。

[https://www.eaaflyway.net/wp-](https://www.eaaflyway.net/wp-content/uploads/2021/10/EAST-ASIAN-AUSTRALASIAN-POSTER-Japanese.pdf)

[content/uploads/2021/10/EAST-ASIAN-AUSTRALASIAN-POSTER-Japanese.pdf](https://www.eaaflyway.net/wp-content/uploads/2021/10/EAST-ASIAN-AUSTRALASIAN-POSTER-Japanese.pdf)



2021/10/15
No.198

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

● JOGA25 自由集会開催(日本鳥学会 2021 年度大会)オンライン開催

日本鳥学会において、今年も JOGA25(東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク支援鳥類研究者グループ第 25 回集会)の開催を開催しました。

題 名:「新たな局面に入った!? 今後のガンカモ類研究の発展を目指して」

企画者: 澤祐介・嶋田哲郎・牛山克己・神山和夫

会 期: 2021 年 9 月 17 日(金) 18:00~20:00

会 場: オンライン開催 (Zoom)

参加者: 鳥学会員大会参加者 100 名以上

JOGA のサイトに要旨が掲示されていますのでぜひご覧ください。

<http://www.jawgp.org/anet/jg027.htm>

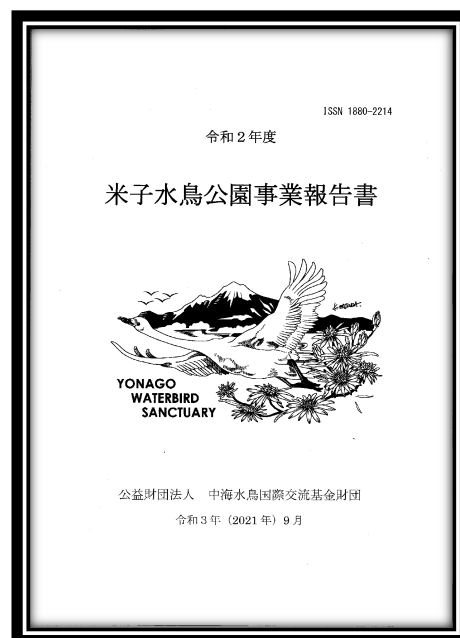
● 環境白書概要版 配布

環境省野生生物課より令和 3 年度環境白書ダイジェスト版をいただきました。各サイトに配布いたします。(全 48 ページフルカラー)



● 米子水鳥公園事業報告書配布

米子水鳥公園より令和 2 年度米子水鳥公園事業報告書をいただきました。各サイトに配布いたします。



● 渡り鳥がつなぐ湿地の恵み

バードライフ・インターナショナル東京より、「湿地の恵み」のパンフレットと活動の手引きをお送りします。ご活用ください。

添付資料	
水鳥公園だより 第 282~284 号 米子水鳥公園事業報告書	1 部
環境白書 概要版	1 部
潟だより (福島潟 2021 秋)	1 部
渡り鳥がつなぐ湿地の恵みと手引き	各 1 部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 3 年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

2021/10/15 No.198	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.199
2021 年
12 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●サロベツ湖がネットワークサイトに!

2021 年 10 月 25 日、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (EAAFP) 及びパートナーは、日本の「サロベツ湿原」を、渡り性水鳥重要生息地ネットワークの 151 番目の参加地 [EAAF151] となりました。日本では 34 番目のフライウェイネットワークサイトです。環境省奥田自然環境局長より河田町長へ認定証が授与されました。

サロベツ湿原は、北海道の最北端に位置する重要生息地の一つとして、ロシアの繁殖地から日本に飛来する渡り性水鳥の玄関口となっています。

- ・EAAFP のサイトでサロベツ湿原を紹介

<https://www.eaaflyway.net/sarobetsu-wetland-japan-new-fns/>

- ・環境省公式サイト「サロベツ湿原」の東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークへの参加について

<http://www.env.go.jp/press/110132.html>

●第 8 回 WLI-Asia 会議

「湿地センターフェスティバル」

Wetland Link International (WLI) は、湿地教育センターの唯一の国際ネットワークです。日本国内からも 10 施設が参加しています。アジアでは、韓国にある東アジアラムサール条約地域センター (RRC-EA) がアジア地区の事務局を運営して

います。RRC-EA は毎年アジア湿地センター会議を毎年開催しています。今年は、フィリピンで第 8 回の会議「The Wetland Center Festival」が開催予定でしたが、コロナ禍のためオンラインでの開催でした。2022 年には part2 として対面形式での会議が計画されています。

日 付: 2021 年 11 月 24 日～26 日

テーマ: 「湿地の健康と癒し」

主 催: WLI-asia, WWT, RRC-EA, SCPW



<https://wli.wwt.org.uk/2021/10/8th-wli-asia-conference-register-for-part-1/?fbclid=IwAR0I9gvKZxorb4MBtaGKjjLtvWT47fMaTmd7c0PL2rytnPfLxBJGx6cenVE>

●東アジア・オーストラリア地域

渡り性水鳥フライウェイ全国大会 2021

渡り鳥や湿地に関する情報交換や交流を目的に YouTube を用いた動画発表及び、Slideshare を用いたポスター発表・意見交換を行いました。渡り鳥に関わる「調査研究」「保管理」「普及啓発」「サイト紹介」など、幅広い内容が発表されました。

開催日時：2021年12月3日(金)～2月5日(日)

主催：環境省、Janet4、Shorebirds

Stepping Stones-ML、日本ツル・コ
ウノトリネットワーク

本大会は、環境省令和3年度東アジア・オース
トラリア地域フライウェイ・パートナーシップ推進業
務のもと、開催されました。

「EAAFP 渡り性水鳥フライウェイ全国大会
2021」ホームページ

<https://eaafp-national->

[conference.jimdosite.com/](https://eaafp-national-conference.jimdosite.com/)

ホームページのタブ「More」から発表一覧を見る
ことができます。

●渡り鳥CEPAワーキンググループの勉強会

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・
パートナーシップ国内
ネットワークの「渡り
鳥CEPAワーキンググ
ループ」で、毎月開催
しているミーティング
で、各湿地の様子を報
告しています。



過去の報告

①出水のツルとクレインパークいずみ

原口 優子

② 荒尾干潟水鳥・湿地センターの企画展

中村 安弘

③ クッチャロ湖 千田 幹太

④ 米子水鳥公園 神谷 要

⑤ 春国岱・風蓮湖 古南 幸弘

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国内
ネットワーク CEPA ワーキンググループ」でみる
ことができます。

[https://www.youtube.com/channel/UCxaufw51L9k
od5tP4y0Y32g](https://www.youtube.com/channel/UCxaufw51L9kod5tP4y0Y32g)

「渡り鳥CEPAワーキンググループ」のホームペ
ージがあります。こちらをご覧ください。

「渡り鳥CEPA部会 ホームページ」

<https://miyajimanuma.wixsite.com/>

[anatidaetoolbox/cepawg-japan](https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/cepawg-japan)

ページ内の  のマークからグループのFacebook
のページに入れます。

次回は

開催日時：2022年1月18日(火)17:30～18:30

「湿地紹介 水の駅 ビュー福島潟」

事務局長 佐藤安男

●白鳥観察&雲樹寺拝観 Cycling, watching and Viewing

中海岸の島根県安来市で島根県が主催し、地
元農業組合、野鳥の会島根県支部が協力してサイ
クリングをしながらバードウォッチングをするツ
アーが実施されました。

開催日：2021年11月23日(火)

：2021年12月11日(土)

主催：島根県

詳しくは、添付のチラシをご覧ください。

添付資料	
水鳥公園だより 第285号	1部
足環からわかる鳥たちのひみつ(山 階鳥類研究所)	1部
福島潟だより 2022 冬号	1部
白鳥観察&雲樹寺拝観(チラシ)	1部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度
EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆
様の情報・資料・イベントチラシなど50部を国
内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまと
めてお送りいただければ、この通信に同封して各
地に配布いたします。

2021/12/27 No.199	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.200
2022 年
1 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

● 世界湿地の日 2022 に向けて

「世界湿地の日」は、ラムサール条約が締結された日を記念して定められました。

ラムサール条約事務局では、毎年世界湿地の日についてキャンペーンを行っています。今年も世界湿地の日のサイトで啓発ためのツールがアップロードされました。各サイトで広報にお役立てください。



Web サイトでダウンロードできるものには、ポスターやデジタルカード、PowerPoint プレゼンテーション、子供向けのカラーポスター、折り紙などがダウンロードできます。

・ World wetlands day のサイト

<https://www.worldwetlandsday.org/material#>

● 文化多様性・田んぼの生物プロジェクト
2030 キックオフ集会

10 年間続いた「田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト」の新たな 10 年に向けて「田んぼの生物・文化多様性 2030 プロジェクト」が立ち上げられました。今回のキックオフ集会では、新しいプロジェクトに向けて参加者が意気込みを共有しました。

日 時：2021 年 12 月 12 日(日) 14:00~17:00

会 場：小山市立中央公民館 第一研修室

参加費：無料

主 催：ラムサール・ネットワーク日本事務局



田んぼの生物多様性向上
10年プロジェクト



・ 田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト
のサイト

<https://tambo10.org/>

● 斐伊川水系生態系ネットワークの愛称とシンボルマーク募集

斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会では、協議会の愛称とシンボルマークを募集します。

募 集：2022 年 1 月 17 日(月)~2 月 18 日(金)

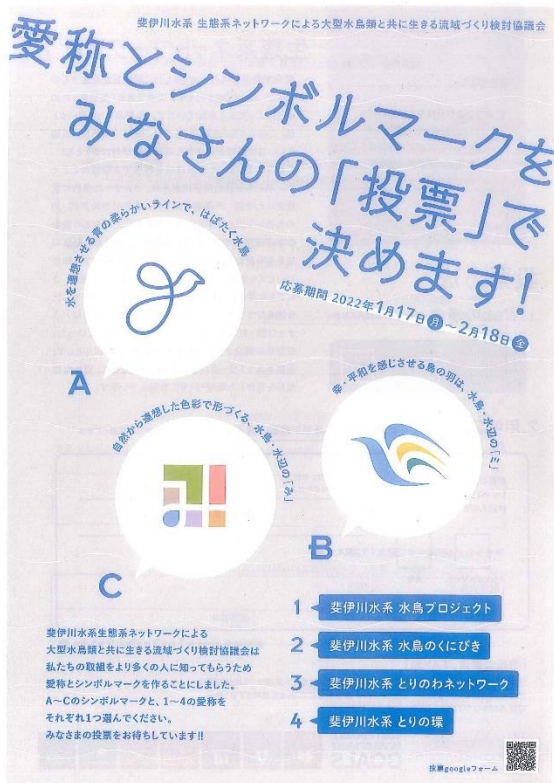
応募先：国土交通省出雲河川事務所

2022/1/1
No.200

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

詳しくは同封するパンフレットをご覧ください。



好きな「シンボルマーク」と「愛称」を応募箱に投函又は、郵便、FAXで投票ください。

●標識コハクチョウ名簿のホームページの紹介

このニュースレターで何度か紹介したロシアでのコハクチョウへの首輪標識調査について、国内への飛来個体の観察をまとめたサイトをバードリサーチが公開しています。ぜひ、ご確認ください。

<https://sites.google.com/view/hakucho-meibo/>

このページにはガン・カモ・ハクチョウ類のカラーマーキング（色付の足環・首輪）の観察記録の報告フォームがあります。提供したデータは標識装着者に送付し、山階鳥類研究所とにも共有されます。

自分が観察したロシアで標識ハクチョウされたハクチョウの観察記録がわかります。

●ロシアでのコハクチョウ標識のための募金

ロシアでコハクチョウに首輪・足環を付ける研究を継続するための募金活動がはじまっています。ロシアでコハクチョウを調査している Diana Solovyevaさんは、2021年夏の調査までで手持ちの首輪・足環を使い尽くしてしまいました。来夏からの調査で使う首輪・足環の購入や旅費のための募金（一口3000円）をお寄せください。

<https://sites.google.com/view/hakucho-meibo/donation>



コハクチョウの標識調査の様子 ©DianaSolovyeva

添付資料	
絵画コンクール 募集チラシ	1部
田んぼの生きものプロジェクトキックオフ集会 チラシ	1部
愛称とシンボルマーク 募集チラシ	1部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度EAAFP事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど50部を国内コーディネーター（米子水鳥公園：神谷）へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

2022/1/1 No.200	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
--------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.201
2022 年
1 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●シンポジウム「渡り鳥がつなぐ地域の自然と環境問題—福島潟における鳥類標識調査が教えてくれること—」

福島潟での標識調査の概要から、希少種コジュリンの生態、国の天然記念物オオヒシクイの渡りルートなど、福島潟で行われてきた調査研究の成果を3人の講師の方々に講演いただきます。

- 講演 1. 尾崎清明 氏：山階鳥研 副所長
講演 2. 千葉 晃 氏：山階鳥研 協力調査員
講演 3. 池内俊雄 氏：雁の里親友の会

日時：2022 年 1 月 29 日（土）13:00～15:15

会場：ビュー福島潟（新潟県新潟市北区前新田乙493）6 階 アクセス

参加：対面参加（ビュー福島潟）：

50 名 要事前申込・申込先着順

ビュー福島潟に電話（025-387-1491）

オンライン参加：申込不要

<https://youtu.be/A8dMR055YKA>

主催：（公財）山階鳥類研究所

共催：ビュー福島潟

後援：環境省生物多様性センター

支援：トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」

※ 本イベントは世界湿地の日（2 月 2 日）を応援しています。

●一般公開シンポジウム「野生動物の健康」

今年度は、国内で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の確認が相次いでいます。希少鳥類保全のためのサーベイランスシステムの開発及び鳥インフルエンザ等による希少鳥類の減少リスクの評価並びにその対策に関する研究に関する一般公開シンポジウムが予定されていますのでご案内します。

日時：2022 年 3 月 21 日（月/祝） 10:00～17:00

第 1 部 動物園動物 —高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）対策を例に—

第 2 部 野生動物 —ワンヘルスアプローチによる疾病対策を目指して—

場所：日本獣医生命科学大学 E 棟 111 号室 東京都武蔵野市境南町 1-7-1

定員：オンサイト 100 名、オンライン 400 名（事前申込みにて受付）

申し込み方法：

<https://s2-1-surveillance.jimdofree.com/>より申し込みください。

主催：（独）環境再生保全機構 環境研究総合推進費 戦略研究 SII-1 プロジェクト

後援：日本鳥学会、日本野生動物医学会、日本獣医学会野生動物分科会

※ 完全オンライン開催に変更する可能性があります。

●シジュウカラガン、ハクガンへの発信器・標識装着について

日本雁を保護する会と山階鳥類研究所は共同で、八郎潟干拓地（大潟村）で越冬中のシジュウカラガン、ハクガンの捕獲を試み、2021年12月13日、シジュウカラガン53羽、ハクガン3羽の捕獲に初めて成功しました。



首輪標識されたハクガン



発信機を装着されたシジュウカラガン

捕獲・放鳥された全ての個体には、金属製の環

境省足環が装着され、更に一部の個体には、写真のような発信器または首環標識が装着されています。

上記の標識個体を観察された場合は、下記の連絡先まで報告していただきますようお願いいたします。

連絡先：

公益財団法人 山階鳥類研究所 保全研究室（鳥類標識センター）澤 祐介

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115

Tel：04-7182-1107

Fax：04-7182-4342

E-Mail: sawa@yamashina.or.jp

添付資料	
水鳥公園だより No. 285	1部
一般公開シンポジウム「野生動物の健康」 チラシ	1部
シンポジウム「渡り鳥がつなぐ地域の自然と環境問題—福島潟における鳥類標識調査が教えてくれること—」 チラシ	1部
シジュウカラガン、ハクガンへの発信器・標識装着について(子案内)	1部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度EAAFP事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど50部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.202
2022 年
2 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●2022 年「世界湿地の日」記念シンポジウム
人と自然のために、湿地を守る行動を始めよう

シンポジウムでは、「人と自然のために、湿地を守る行動を始めよう」をテーマに、人々が湿地の保全やワイズユースについて行動を起こすためのきっかけや重要な要素等について話し合い、どう実践していくかが提言されました。

日 時：2022 年 2 月 2 日（水）18:00-20:00
場 所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

テーマ：人と自然のために、湿地を守る行動を始めよう
(Wetlands Actions for People and Nature)

主 催：日本国際湿地保全連合 (WIJ)、国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)、地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

共 催：環境省



参加費：無料 ※要事前参加登録

定 員：500 名

申込み：日本国際湿地保全連合

ホームページより

<https://japan.wetlands.org/>

●渡り鳥 CEPA ワーキンググループの勉強会

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワークの「渡り鳥 CEPA ワーキンググループ」で、毎月開催しているミーティングで、各湿地の様子を報告しています。

時間：2022 年 2 月 15 日 7:30~18:30—

講師：石郷岡 卓哉（北海道海鳥センター）

内容：WATARIDORI 飛来地紹介⑦

海鳥とともにくらす地域を目指して

北海道海鳥センターの活動

三月の「渡り鳥 CEPA ワーキンググループ」のミーティングでは、3 月 27 日（日）午後に「ガン特集」を予定しています。ご期待ください！

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国内ネットワーク CEPA ワーキンググループ」で見ることができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCxaufw51L9kod5tP4y0Y32g>

「渡り鳥 CEPA 部会 ホームページ」

2022/02/15
No.202

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

<https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/cepawg-japan>

※ページ内の **f** のマークからグループの Facebook のページに入れます。

● 東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ(EAAFP)国内連絡会

令和4年2月24日(水)に、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップの国内連絡会議が開催されます。

ガンカモ・シギチ・ツルの各コーディネーターから活動状況の報告とともに今後のネットワークの活動について話し合われます。(オンライン)

● 今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ

今シーズンも、国内や近隣諸国において高病原性鳥インフルエンザが確認されています。2022年に入ってから確認例が続いており、警戒が必要です。

(環境省のページ)野鳥中心に記録

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

(農水省のページ)海外・家禽での発生状況

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

● 訃報 エフゲニー・シロエチコフスキー博士

EAAFP のロシア連邦代表であり、ヘラシギタスクフォースの議長であるエフゲニー・シロエチコフスキー(Evgeny Syroechkovskiy)博士が、2022年1月25日になくなりました。

博士は、ヘラシギだけでなく北極圏の鳥類について幅広く取り組み、ガン類の保全活動にも多くの協力をしていました。先日、出版された「シジュウカラガン物語—しあわせを運ぶ渡り鳥、日本の空にふたたび!」呉地正行・須川恒著にも写真付きで博士が紹介されています。

博士は、日本にも会議などで何度も訪れており、各サイトでお会いされた方も多いと思います。

す。改めて、ご冥福をお祈りいたします。



エフゲニー・シロエチコフスキー博士(左)
(EAAFP 国際事務局ニュースレターより)

添付資料	
水鳥公園だより No. 287 ヨシ刈り大会のお知らせ	1 部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

※編集後記

新型コロナウイルス感染症オミクロン株の拡大により各サイトの観察施設においてイベントの中止や利用制限が設けられています。イベントが以前のように安心して開催できる日が早く来てほしいものです。
(神谷)

2022/02/15 No.202	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.203
2022 年
3 月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

● 令和3年度東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ(EAAFP)全体
版ニュースレターVol.1

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップのガンカモ・シギチ・ツルの種群を超えた国内ネットワークのニュースレターが年一回発行されることとなりました。国内コーディネーター通信では、提供できていなかった国際事務局の動きや他の種群やフライウェイ全体の活動をお知らせいたします。今回、送付するものは、令和3年度分にあたります。

● EAAFP 国内サイト紹介パンフレット

この度、サロベツ湿原(北海道)が新たにフライウェイのサイトとなりました。これを加えたEAAFP 国内サイト紹介パンフレットが制作されましたので皆様にお送りします。



● 2022 年は「アジサシの年」!!

EAAFP の事務局と EAAFP 海鳥作業部会は、2022 年を「アジサシの年」としました。3つの目標を掲げております。

1. フライウェイ内の海鳥、特にアジサシの意識を高める
2. フライウェイ内での海鳥の研究と保護に関する対話と協力を奨励
3. 海鳥作業部会と海鳥の生息地管理者との協力関係を促進および強化

特に事務局では、キャンペーンの対象種としてヒガシシナアジサシ(CR)、コシジロアジサシ(VU)、オオアジサシ、マミジロアジサシ、コアジサシ、エリグロアジサシ、ベニアジサシの7種を上げています。



詳しくは国際事務局のページをご覧ください。

<https://www.eaaflyway.net/year-of-the-terns-2022/>

● 伝統鴨網猟シンポジウム

未来に残そう！日本の投げ網猟の現在と未来と題して、シンポジウムが開催されました。チラシをご覧ください。

日時：令和4年3月12日(土)13:00~15:30

場所：インターネットによるオンライン Live 配信

<https://youtu.be/6C4iyauwr88>

基調講演：

安室 知教授(神奈川大学日本常民文化研)

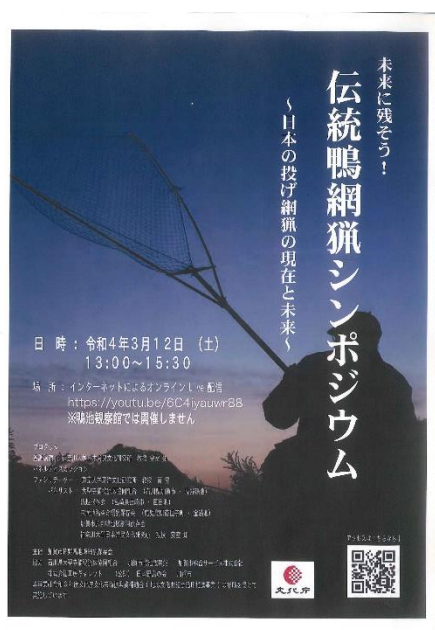
パネルディスカッション

ファシリテーター：

菅 豊教授(東京大学東洋文化研)

パネリスト：

大聖寺捕鴨猟区協同組合、鴨越保存会、宝満池鴨突き網猟保存会、加賀市片野鴨池坂網猟保存会他



時間：2022年3月27日 17:30~18:30

講師：澤祐介(バードライフ) 牛山克己(宮島沼)

嶋田哲郎(伊豆沼・内沼)

内容：ガン特集

過去の報告は、Youtube チャンネル「EAAFP 国内ネットワーク CEPA ワーキンググループ」で見ることができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCxauw51L9kod5tP4y0Y32g>

「渡り鳥 CEPA 部会 ホームページ」

<https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/cepawg-japan>

※ページ内の  のマークからグループの Facebook のページに入れます。

添付資料	
水鳥公園だより No. 288	1 部
(EAAFP) 全体版ニュースレター Vol. 1	1 部
フライウェイサイト紹介のパンフレット(サロベツ追加版)	1 部
伝統鴨網猟シンポジウムチラシ	一部

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和3年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

● 渡り鳥 CEPA ワーキンググループの勉強会

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国内ネットワークの「渡り鳥 CEPA ワーキンググループ」で、毎月開催しているミーティングで、各湿地の様子を報告しています。

2022/03/03 No.203	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----